

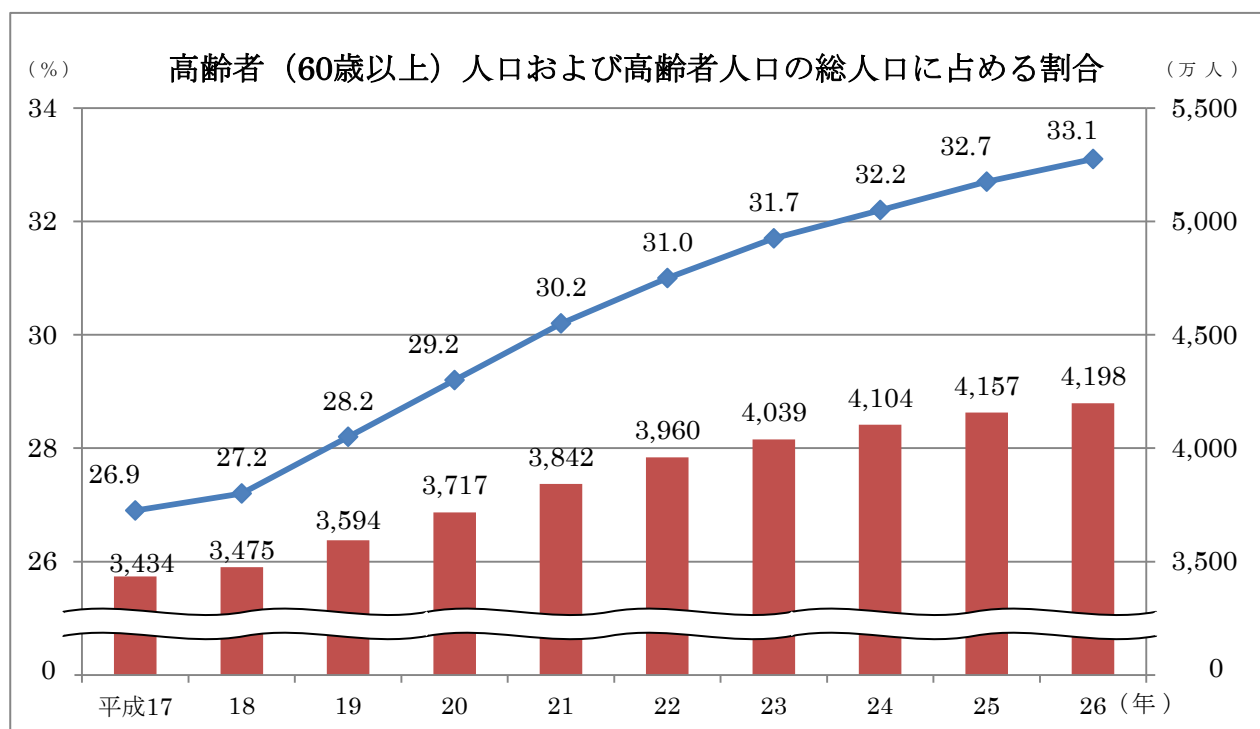
ねんりんピック（全国健康福祉祭）が、来月17日から20日までの4日間、山口県で開催されます。厚生省（現厚生労働省）創立50周年を記念して、昭和63（1988）年に兵庫県で第1回が開催されて以来、今年で28回目になります。

ねんりんピックは60歳以上の方々を中心としたスポーツと文化、健康と福祉の祭典で、全国から選手・役員が約1万人、観客を含めると約50万人の参加が見込まれています。ソフトボールなど一般になじみの深いスポーツに加え、太極拳や健康マージャンなど、ねんりんピックならではのものをあわせて25種目の競技が実施されます。

さて、グラフは全国の高齢者（60歳以上）人口と高齢者人口の総人口に占める割合を表したもので、高齢者が急激に増加していることがわかります。高齢化が進展する中で、ねんりんピック参加選手の平均年齢も、平成17年の67.4歳から26年の68.7歳まで、この10年で1歳以上高くなりました。

平成26年における日本の平均寿命は、男性が80.50歳、女性が86.83歳で世界一の長寿国となっています。高齢者の方々の社会参加や生きがいの高揚などを図り、活力のある長寿社会を形成することを目的としてねんりんピックは開催されます。

すべての市町で実施されますので、会場で本県代表選手だけでなく、全国から集まった選手を応援してみませんか。



出典：総務省「推計人口」